

〈編集後記〉

『大分大学教職大学院研究報告』第8号をお届けします。2016年度に新設された大分大学教職大学院は、今年度第8期の修了生16名を送り出すことができました。修了を迎えるにあたり、教職大学院の教育研究を理解していただき、数々のご助力やご支援をいただいた大分県下の多数の行政機関、学校、地域の方々に深く感謝の意を表します。「理論と実践の往還」を理念に掲げる教職大学院において実習・研究を行うためには、連携協力校の教職員、学校実習担当教員、児童生徒の皆様のご協力が不可欠です。多大なるお力添えをいただいたことに厚く御礼申し上げます。

第8号では、これまで同様、修了生の2年間の学びの成果である教育実践研究報告書を研究報告として掲載しております。修了生には、自身の教育実践を言語化し研究報告にまとめ上げた経験を糧にして学校で活躍することを期待するとともに、これからの経験を通して研究報告の内容をさらに発展させていってほしいと思います。

大分大学教職大学院では、今後のさらなる成長と発展を目指すために本報告書をお読みいただいた皆様から内容や形式等についてのご意見をいただきたく存じます。ご忌憚のないご意見、ご感想を寄せていただければ幸いです。

(山本 遼)

〈編集担当〉

山本遼，藤村晃成，大島崇，清國祐二，安田憲司

大分大学教職大学院研究報告 第8号

令和7年3月25日 発行

発行者 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻
大分市大字旦野原700番地



OITA UNIVERSITY